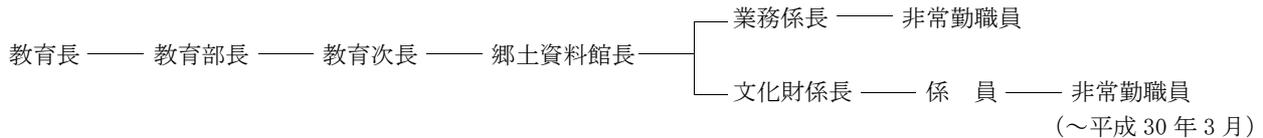


組織・職員一覧

組織



職員一覧 (平成31年3月31日現在)

郷土資料館長	榑田 智幸	文化財係長	稲垣 和幸※(～平成30年3月)
業務係長	佐藤 一志※(～平成30年3月)		佐藤 一志※(平成30年4月～)
	寺井 貫生(平成30年4月～)	同 主任	眞坂 隆太※
非常勤職員	青山 波留樹	同 主事	遠藤 ゆきの※(平成30年4月～)
	高森 幸代	非常勤職員	園部 眞幸※(～平成30年3月)
	塚田 悦子		
	園部 眞幸※(平成30年4月～)		

※は学芸員

関連団体

●江別市郷土資料館友の会

目的 江別市及び周辺地域の歴史・自然・産業などについて研修し、会員相互の交流を図るとともに、郷土資料館が開催する事業に協力する。

発 足 平成3年8月25日

会 長 田村 邦雄

会 員 73名(平成31年3月現在)

- 事業
- ・会報「原始林と石狩川」発行
 - ・郷土資料館事業の協力
 - ・講演会・研修会の開催
 - ・参考資料・図書の作成領布

事務局 郷土資料館内

●歴史を伝える集い

目的 江別の郷土史を中心に、歴史をテーマとした学習会、見学会などの活動を通じて会員相互の交流を図る。また、各種講座への講師派遣など郷土資料館への事業にも協力し、広く市民に江別の歴史を伝承し普及させることを目指す。

発 足 平成10年5月15日

会 員 13名(平成31年3月現在)

- 活動
- ・江別の歴史について学習
 - ・歴史に関わる話題交流
 - ・郷土資料の解説や整理保存
 - ・会報「史伝」の発行

代 表 忠岡 三七海

事務局 青山 波留樹

高森 幸代

●江別土器の会

目的 市内で発見された萩ヶ岡式や江別式などの土器をモチーフに古代人と同じ製法で作品を制作し、発表する活動などを通じて、江別の地で栄えた古代文化の素晴らしさを広く市民に伝えることを目指す。併せて、文化財保護への啓発活動や、陶芸文化の振興にも協力する。

発 足 昭和61年4月

代 表 宮野 裕子

会 員 8名(平成31年3月現在)

- 活動
- ・縄文土器などをモデルとした作品の制作活動
 - ・郷土資料館の開催事業(土器制作等)への協力



平成30年度友の会研修旅行(小樽市総合博物館)